

社会は、地理・歴史・公民分野の各大問から構成されています。また、論述問題(文章で説明を求める問題)を出題しており、部分点を設けています。

今回は、理科とあわせて40分で実施しましたが、実際の入学試験は、理科・社会2教科あわせて60分間でおこないます。入学試験模擬問題と難易度や傾向は同じですが、問題数は25問から30問程度、配点は1問あたり2点から4点程度としています。

出題の傾向や形式は、これまでの入学試験問題を踏襲して、地理・歴史・公民の3分野から出題し、洗足学園中学校での学習の前提となる基礎力を身につけているか、という観点で出題しています。

1 地理分野からの出題です。

問1 四日市では、石油化学コンビナートから大気中に排出された亜硫酸ガスによって、多数のぜんそく患者が発生しました。正解は②です。

問2 「リアス海岸の地形によって、波の影響を受けにくいため。」といった内容の文章であれば正解とします。

問3 吉野杉・尾鷲檜・天竜杉は、人工の三大美林とされています。正解は⑤です。

問4 「黒潮」、または「日本海流」が正解です。正しい漢字での解答のみ正解とします。

実際の入試問題では、漢字指定の問題なのか、ひらがなでの解答でもよいのか、問題文をしっかりと読んで解答してください。漢字での解答を指定されていない問題でも、あきらかな漢字の間違いは不正解とします。

問5 長野県は、もも・ぶどうの生産が盛んです。同様に、福島県はもも・りんご・ぶどう、和歌山県はももの生産が盛んです。したがって、正解は①です。

問6 阪神工業地帯における製造品出荷額は、金属・化学の割合が比較的大きく、機械の割合が小さくなっています。正解は①です。

重要な統計資料などは、それを「暗記」するのではなく、なぜそのような順位になるのか、なぜ変化したのか、といった疑問を常にもちつつ、学習を進めてください。また、統計についての細かい知識を要求しているわけではありません。都道府県や地域ごとの産業などの特徴をおさえれば、統計の細かい部分がわからなくても答えを導き出せます。

今回の入試問題説明会では出題されていませんが、雨温図の問題は、ほぼ毎年出題しておりますので注意が必要です。各地域の気候上の特徴を、雨温図から読み取れるようにしておきましょう。

2 歴史分野からの出題です。

問1 「土偶が使用されるようになった。」という部分が誤りです。正解は③です。

問2 正解は「堅穴」住居です。正しい漢字での解答のみ正解とします。

問3 桓武天皇がおこなった長岡京・平安京への遷都において、奈良の寺院勢力は原則上移転することはありませんでした。「平城京の寺院勢力の介入を防ぎ、新しい政治をおこなうこと。」といった内容の文章であれば正解とします。

問4 『平家物語』は、鎌倉時代に成立したと考えられています。したがって、正解は①です。

問5 正解は「六波羅探題」です。正しい漢字での解答のみ正解とします。

問6 正解は③です。近松門左衛門は、浄瑠璃や歌舞伎の脚本を手がけました。

問7 1877年は明治10年、1914年は大正3年にあたります。①②③は明治期の出来事です。④は大正14年の出来事です。正解は④です。

3 公民分野からの出題です。

問1 伊勢志摩サミットには、G7各国が参加しました。正解は①と③です。

問2 ②③④は自由権に関する文です。社会権に含まれる団結権に関する文である①が正解です。

問3 ④の文中の「地方交付税交付金」は、各地方公共団体における地方税収入の格差を是正する目的で政府より交付されます。「自立を促す取り組み」としてはふさわしくありません。正解は④です。

問4 ①は「水力発電を上回る電源になっている。」、②は「有害な廃棄物を増やす」、④は「法律との兼ね合いで実用化されていない。」という部分が誤りです。したがって、正解は③です。

問5 「憲法に違反すると最高裁判所が判断し、戸籍上、夫婦別姓が認められるようになった。」という部分が誤りです。正解は④です。

勉強の際には、「なぜ、そうなるのか」という問題意識をもちながら学習してほしいと思います。また、1～2行の文章で答える論述問題は、各分野1問程度出題しています。部分点を設けているものもありますので、最後まであきらめずに解答してください。また、使用する語句が指定されている場合は、その語句をヒントに解答文を考えてみてください。